

南山大学
学校推薦型選抜
(長期留学経験者対象)
小論文問題集

2026年度

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

《学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）》

審査の概要	1
英米学科	2
スペイン・ラテンアメリカ学科	4
フランス学科	5
ドイツ学科	7
アジア学科	10

※志願者がなかった学科の小論文は掲載しておりません。

審査の概要

学部	学科	小論文概要		面接方法
人文	キリスト教	キリスト教の文化や思想などに関する文章を読み、その要旨と自分の意見を論述する。	1000 字程度	個人
	人類文化	人間の文化や歴史に関する文章を読み、その要旨と自分の意見を論述する。	1000 字程度	個人
	心理人間	資料を活用しながら、自分の考えを論理的に記述する力を問う。	1200～1600 字程度	グループ 〔グループワークを含む。ただし、受験者が1名の場合は、個人面接を行う。〕
	日本文化	日本語の文章を読み、その要旨と自分の意見を論述する。	1200 字程度	個人
外国語	英米	英語の文章を読み、その内容について日本語で論述する。	1000 字程度	個人 〔英語による面接を含む。〕
	スペイン・ラテンアメリカ	スペインおよびラテンアメリカの政治・経済・社会・文化・歴史・芸術等に関し、2 題から 1 つを選択して論述する。	1000 字程度	個人
	フランス	フランス語圏の文化や社会に関する文章を読み、設問に答え、文章の内容について自分の考えを論述する。	1000 字程度	個人
	ドイツ	ドイツ語圏や日本の文化・社会に関する文章を読み、設問に答え、関連するテーマについて自分の考えを論述する。	1000 字程度	個人
	アジア	アジアの社会・歴史・文化などに関する文章を読み、設問に答え、内容について自分の考えを論述する。	1000 字程度	個人
経済	経済	経済・社会問題に関する文章や資料を読んで、内容に関する設問について論述する。面接では、小論文の課題をテーマにしたグループ討議と志望理由等の確認を行う。	1000 字程度	グループ
経営	経営	-		個人
法	法律	広く社会問題全般の中から、ある話題に関する論説を読み、①内容に関する設問に答え、②内容に関して小論文形式で自己の意見を述べる。	1000 字程度	グループ
総合政策	総合政策	現代の国際社会や国内社会の問題や課題に関する一般的な文献・資料を読み、設問に答える。	1000～1200 字程度	個人
理工	ソフトウェア工学 データサイエンス 電子情報工学 機械システム工	科学技術・数学・物理学に関する文章や資料を読んで、内容に関する設問に対して論述する。	800 字程度	グループ
国際教養	国際教養	グローバル社会で生起する問題に関する英語の文章を読み、その内容を日本語で要約し、自分の考えを英語で論述する。	日本語 400 字以内 英語 150words 程度	グループ 〔英語による面接を含む。〕

2026年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2025年11月29日実施）

<外国語学部 英米学科>

Why do some people devote themselves to learning a new language, training for a marathon, or perfecting a new skill just for fun? They have something known as intrinsic motivation, an internal drive to engage in a behavior because they simply enjoy it, not because they want a reward or a specific outcome.

Intrinsic motivation happens when we act without being forced to by obvious external rewards. In other words, the activity itself is its own reward. Intrinsic motivation can be contrasted with extrinsic motivation, which involves engaging in a behavior to earn external rewards or avoid punishment.

The three main elements of intrinsic motivation are autonomy, purpose, and mastery. People are intrinsically motivated when they can act independently, feel that their efforts matter, and gain satisfaction from becoming more skilled.

Consider for a moment your motivation for reading this article. If you are reading it because you have an interest in psychology and simply want to know more about the topic of motivation, then you are acting based upon intrinsic motivation. If you are reading this article because you have to learn the information for a class and want to avoid getting a bad grade, then you are acting based on extrinsic motivation.

When was the last time you did something simply for the enjoyment of the activity itself? You can probably think of many activities that fall into this category. For instance, you might plant a garden, paint a picture, play a game, write a story, take a walk, or read a book. Some of these activities might be productive or result in some reward, but that's not really your goal. Instead, you do them because you like to. They make you happy.

When you engage in an activity for the pure enjoyment of it, you are doing so because you are intrinsically motivated. Your motivations for engaging in the behavior arise entirely from within rather than out of a desire to gain some external reward, such as prizes, money, or acclaim.

Of course, that isn't to say that intrinsically motivated behaviors do not come with their own rewards. These rewards often involve creating positive emotions within the individual. Activities can generate such feelings when they give you a sense of meaning, like participating in volunteer or church events. They may also give you a sense of progress when you see that your work is accomplishing something positive, or competence when you learn something new or become more skilled at a task.

2026年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2025年11月29日実施）

<外国語学部 英米学科>

Sometimes, extrinsic rewards can have a harmful effect on our existing internal drive to engage in a behavior. Researchers have discovered that offering external rewards or reinforcements for an already internally rewarding activity can actually make the activity *less* intrinsically rewarding. This phenomenon is known as the overjustification effect.

Intrinsic motivation is an important topic in education. Teachers and instructional designers strive to develop intrinsically rewarding learning environments. Unfortunately, many traditional teaching methods suggest that most students find learning boring, so they must be extrinsically pushed into taking part in some educational activities.

Some researchers suggest that this does not need to be the case. They identify several different ways to create intrinsically rewarding learning environments. An activity is intrinsically motivating if people do it for the sake of the activity and not to get a reward or avoid a punishment. The words fun, interesting, captivating, enjoyable, and intrinsically motivating are used interchangeably to describe such activities.

Examples of intrinsic motivation in daily life are everywhere. If you participate in a sport because you enjoy it rather than to win awards or competitions, you're responding to intrinsic motivation. Another example is that you try to do your best at work because your tasks and mission provide fulfillment and satisfaction, regardless of extrinsic factors such as pay and benefits.

Perhaps you maintain a beautiful garden because you enjoy planting it and watching it grow, not because the neighbors would complain if your yard were messy. Or, maybe you dress stylishly to express yourself and your interest in fashion, rather than to attract attention. Whenever you do something "just for you," you're responding to intrinsic motivation.

出典：Kendra Cherry, "Intrinsic Motivation: How Internal Rewards Drive Behavior," Verywell Mind, July 8, 2025.
<https://www.verywellmind.com/what-is-intrinsic-motivation-2795385>

【設問1】

本文の内容を要約しなさい。（1000字程度。日本語で原稿用紙に解答してください。）

2026年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2025年11月29日実施）

＜外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科＞

次の2つの設問からひとつを選び、1000字程度で論述しなさい。その際、解答用紙に選んだ設問番号を明記し、小論文の冒頭（枠内の冒頭）には適切なタイトル（題目）を記しなさい。

アルファベットで表記される語句を用いる場合、2文字（語間にスペースがある場合、それも1文字とする）で回答用紙の1マスを使うこと。

- ① スペイン語圏（スペインないしラテンアメリカ）の文化的多様性に関して、あなたが最も関心を持つ事柄を答えなさい。さらに、その事柄に関心を持つ理由を記述しなさい。
- ② スペイン語圏（スペインないしラテンアメリカ）とつながりの深い食べものないし飲みものを一つ選び、そのものを手がかりとして浮かび上がる、スペインないしラテンアメリカ社会の特徴や傾向について説明しなさい。

二〇二六年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 (二〇二五年十一月二十九日実施)

〈外国語学部 フランス学科〉

【次の文章は、反移民や排外主義を掲げる政党の生まれた要因が、「経済か文化か」の二者択一、すなわちグローバル化や市場化などによるものか、民主主義的価値観や権威主義的価値観によるものかの二者択一ではないことを論じた文章です。この文章を読んで後の問いに答えて下さい。】

グローバル化や自由化・市場化が反移民急進右翼政党の推進力になっているとすれば、こうした政治勢力の価値観や政治秩序を受け入れて、今の民主制の姿を諦めるのでない限り、現在の先進国（日本は除く）の政府の経済財政路線は中長期的には持続可能でないと認めざるを得なくなる。それを認めたくないのであれば、反移民急進右翼政党が躍進するのは、元々民主制と相容れない閉鎖的で権威主義的な価値観を持っている、（多くの場合、低学歴の）民衆層（イギリスでは、子供を指すロマの言葉を借りて「チャヴ」と蔑称される〔中略〕）こそ元凶であり、この連中を教化し間違った価値観を改めさせる政治宣伝が反移民急進右翼政党に対抗する要諦だと説くことになる。

こうした言説は、一世を風靡したフランスの経済学者ピケティが描き出す現代の西欧社会民主主義政党のあり様とほぼ完全に平仄が合っている。西欧の社民政党は、過去三〇年余り（コロナ危機の間を例外として）、財政緊縮や社会保障削減、規制緩和と市場化といった政策路線を、政権を分け合う保守政党と一緒に進めてきた結果、「工場」労働者など民衆層の支持を失い、今や大都市に住む高学歴のホワイトカラー中間層を最大の支持基盤としている。急進左翼の旗幟を鮮明にするピケティは、これをインドのカースト最上位を占める司祭階級になぞらえて「バラモン左翼」と呼ぶ。彼らはグローバル化やヨーロッパ統合から経済的に受益しており、これに適合的な、開放的な（六八年世代を引き継ぐような）価値観を強く信奉して、反移民急進右翼政党を支持する民衆層と対峙していると描かれる〔中略〕。多くの国で急進左翼政党の競合を受ける社民政党にとって社会経済政策を争点化されるのは不都合であり、とりわけ反移民急進右翼政党が政権を脅かす勢力にまで成長したのは、他ならぬ自分たちが進めてきた緊縮や市場化などの政策路線のせいだ、などと認めることは決してできない。自分たち「バラモン」が邪悪な「チャヴ」に根気強く説教をして悔い改めさせることで問題は解決できるのだと言い続けるしかない。

しかし、戦後長らく民衆は、自由民主主義や多元的な社会を支えるべくエリートが次々と差し出す価値規範を従順に受け入れお行儀よく振る舞ってきた。それが今、大挙して叛乱を起こしているのはなぜなのか。多様性を体現し民主制の価値を説き続けたハリスにトランプがラストベルトの激戦州で完勝した二〇二四年の米国大統領選挙は、インフレに苦しんで急進化し、エリートが戒める偏見や差別を隠そうとしなくなった彼の地の「チャヴ」にとって「バラモン」の説教がいかに無意味で無力かを思い知らせた。二〇二二―二四年の一連の選挙結果は、西ヨーロッパでも各国の政治エリートがもはや従来の姿勢を維持できなくなりつつあることを示した。スウェーデン民主党は遂に「防疫線」を突破して右派の選挙連合に参加し、二二年総選挙後に閣外支持の地位を得た。ドイツですら二〇二五年総選挙後は同様の事態が迫ってきた。オランダとオーストリアでは自由党が議席をほぼ倍増させ、オランダでは暫く政権から遠ざかっていたウィルデルスが遂に政権の主軸を占めるに至った。フランスでは、背後に迫る極右・国民連合の足音に怯えた大統領マクロンが下院の解散・総選挙に打って出て、むしろ国民連合の「主流化」（定義は後述）を促進する結果となり、年金改革など過去三〇年以上にわたる歴代政権の社会経済政策が変更や後戻りへの圧力を受けている。今後、各国で反移民急進右翼政党が政権に就くか否かを問わず、市場化・緊縮路線

変更の圧力はやがて本丸であるEU中枢にも及ぶだろう（現在、検討中の全欧的な大軍拡計画が、とりあえずの脱出口となるかもしれない）。

こうした激変は学問の世界にも影響をもたらさずにはおかない。そもそもコロナ危機とウクライナ戦争を経て、なお市場中心だった世界の思潮は劇的に変わった。時代はハイエクからポラニーへと戻りつつある。グローバル化と自由化・市場化という「悪魔の碾き臼」が世界中で社会を挽き潰すに任せてきたこの三〇年を政治的にも知的にも総括する時が来ている。現実政治について言えば、それをいかなるイデオロギーや政治路線の下で行うかが現下の問題である。知的な環境を見ても、「ポピュリズム」と緊縮・市場化路線の関係を解き明かす研究を進展させる環境は整いつつある。〔中略〕

ただ、「経済か文化か」のような生産的でない論争を生んだ原因は、これまでの反移民急進右翼政党に関する研究態度にも内在している。従来の研究は主に比較政治学者に担われ、彼らは常に最新のデータで知見を更新するよう訓練されているがゆえに、田中間層から労働者・民衆層への転換など、この三〇年で反移民急進右翼政党が実は何度も大きな変貌を遂げてきたことを忘れてしまいがちだった。実際、比較政治学者による分析のほとんどは、論文が書かれた時点に関するいわばスナップショットか、執筆時点を終点とする一定期間を一括して捉えようとする結果、时期的な変動を無視して、（スナップショットの）合成画像を描くに留まってきた。文化説の見かけ上の優位もここから生じる。

つまり、従来の反移民急進右翼政党研究に欠けているのは、一九八〇年代以来の党の歴史を一連の変動過程と見て、選挙における支持の水準や支持基盤、これに対応した政治／政策路線の変遷・転換の過程・メカニズムを明らかにする作業である。これはまさに政治史家の領分であり、本章は、比較政治学者が選挙などの節目ごとに計量分析で積み上げてきた分析を一つの歴史として総合することで、新たな研究の地平を切り拓くことを提唱する。

こうした観点に立つことで、前節で述べた「経済か文化か」の論争を発展的に解消することにも貢献できる。経済的要因で流入する「グローバル化の敗者」（主題者による注：以前は比較的安定した社会的地位を享受していたが、グローバル化によって働き口を失ったり賃金水準が下がったりした民衆層）の有権者は、あくまで反移民急進右翼政党の支持基盤の一部に過ぎないものの、党が今日のような「主流（mainstream）政党」に成り上がる「主流化」の過程を時系列で跡付けていけば、「グローバル化の敗者」こそ党の発展に決定的な重要性を持ったことが示されると見込めるからだ。

【出典 中山洋平「西ヨーロッパにおける自由化・市場化の進展と反移民急進右翼政党の『主流化』——世紀転換期の民衆層急進化の政治史に向けて」、水島治郎（編）『アウトサイダー・ポリティクス—ポピュリズム時代の民主主義』（岩波書店、二〇二五年、三〇五四頁、三五二—三八頁）、一部改変。】

問 1

下線部にある「バラモン」と「チャヴ」は、それぞれ具体的に何を指し、前者は後者に説教しながらも、何を認めていないのか。本文の内容に基づいて二〇〇字程度で答えて下さい。

問 2

まず、グローバル化と反移民急進右翼政党の台頭との関係について、フランスか日本のいずれかの国の状況を例として、本文で書かれていることとあなたが持つ知識を結びつけながら論じて下さい。次に、そのような状況を打開する解決策や展望を示して下さい（合わせて八〇〇字程度）。

2026年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2025年11月29日実施）

<外国語学部 ドイツ学科>

次の文章を読み、設問に答えなさい。

3.2 〈娯楽芸術〉の誕生

1950年代から60年代の東ドイツでは、〈娯楽〉とは資本主義諸国の〈退廃的〉なブルジョワ文化だとして非難されてきた。この時期の東ドイツで理想とされたのは、労働者や階級とうそう^(a)をテーマとする社会主義リアリズム芸術であった。〈娯楽〉は東ドイツの目指す社会主義リアリズムとは相いれない批判すべき対象だったのである。例えば、ウルブリヒトはエルヴィス・プレスリー (Elvis Presley) の音楽を「ホットミュージック」や「陶酔的な歌」という言葉で批判したし、音楽学者のエルンスト・ヘルマン・マイヤー (Ernst Hermann Meyer) にいたってはロックン・ロールを西側からの「毒ガス攻撃」だと言いつつ放った。この頃の東ドイツにとって、娯楽は嫌悪すべき対象であるだけでなく、西側からの脅威でもあったのだ。

このような〈娯楽〉に対する批判的な見方は、ホーネッカー政権下で〈娯楽芸術〉というジャンルが成立したことによって影を潜めた。そのきっかけとなったのが、党関係者であるホルスト・スロンマ (Horst Sломма) による『娯楽の意義と娯楽の芸術 (Sinn und Kunst der Unterhaltung)』(1971)の出版である。このなかでスロンマは、社会主義国にも〈娯楽〉は必要であるとしたうえで、あるべき社会主義的な〈娯楽〉について論じた。彼は退廃的でブルジョワ的な〈娯楽〉を〈資本主義的な娯楽〉と見なし、その一方で〈社会主義的な娯楽〉があると主張した。スロンマが〈社会主義的な娯楽〉という〈娯楽〉のあり方を定義したことで、東ドイツでは次第に〈娯楽〉への対応が柔軟になってきたのである。

スロンマの著作と前後して、東ドイツでは〈社会主義的な娯楽〉ではなく〈娯楽芸術 (Unterhaltungskunst)〉というジャンル名が見られるようになる。『文化政策辞典 (Kulturpolitisches Wörterbuch)』(1970)によると、〈娯楽芸術〉は次のように定義されている。「ダンス音楽、娯楽音楽、レビュー、推理小説、犯罪映画、パントマイム、風刺画など、教育的に楽しむことができる芸術ジャンル・様式。楽しいだけの芸術ジャンル・様式とは異なる」。

列挙^(b)されたジャンル自体は、一般的に〈娯楽〉とされるジャンルとなんら違いがない。しかし注目すべきは、〈娯楽芸術〉が「教育的に楽しむための芸術ジャンル・様式」として、「楽しいだけの芸術ジャンル・様式」とは区別されていることだ。〈社会主義的な娯楽〉と〈資本主義的な娯楽〉という区分により〈娯楽〉そのものが悪とはみなされなくなったことで、〈娯楽芸術〉は〈娯楽〉ではなく〈芸術〉として位置づけられた。これまで批判の対象であった〈娯楽〉に国家公認というお墨付きを与えるためには、〈芸術〉という言葉が必要だったのである。

〈娯楽芸術〉が国家公認ジャンルとして支援の対象となるなかで、ウルブリヒト政権下で〈野蛮な文化〉として槍玉に挙げられていたロックも正当化された。〈娯楽芸術〉のジャンルの一つに数えられることで、国家の支援を受けながら東ドイツの青少年を教育する重要な音楽ジャンルへと変貌を遂げたのである。現在オスタルギーの流れにのって〈東ドイツ・ロック〉として再評価されているバンドには、この時期に活動をはじめたミュージシャンが多い。彼らは東ドイツの音楽大学を卒業し、国が認めるミュージシャンとしての職業資格を取得することで公に活動することができた。プディーズ (Puhdys)、カラット (Karat)、シティ (City) といった1970年代に結成されたバンドは、ホーネッカーによる〈娯楽芸術〉の政策にうまくのって、活動をする場を得たのである。

2026年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2025年11月29日実施）

<外国語学部 ドイツ学科>

〈娯楽芸術〉に対する国の支援体制で重要なのは、1973年、東ドイツ閣僚評議会（Ministerrat der DDR）の管轄^(c)下に設置された娯楽芸術委員会（Komitee für Unterhaltungskunst）である。その主な任務は、娯楽芸術に関係するアーティストの活動支援、コンサートなどイベントへの助成金配分であった。他方で、アーティストやイベントの採択については文化省に一任していた。娯楽芸術委員会の仕事の多くは、契約手続きやアーティストへの対応といった日常的な事務作業だったのである。その一方で、委員会は文化省などの国とアーティストとの事務的な仲介だけでなく、アーティストの不満や要望を上にあげる〈仲介機関〉としても機能していた。東ドイツにも、いまで言う芸能プロダクションのような機関が存在していたのである。

東ドイツには、国家が介入することで創りあげられたポピュラー文化があった。〈娯楽芸術〉という東ドイツ固有のジャンルは、東ドイツ固有のポピュラー文化を支える文化政策面での指針になった。そして娯楽芸術委員会は、監視役としての役割はあったが、社会主義イデオロギーを押し付ける機関というよりも、むしろ国とアーティストとの仲介役としての役割を担っていたのである。

3.3 若者、デーファ〔東ドイツ映画〕を覗に行く

ホーネッカーによる〈娯楽芸術〉が軌道にのるなか、東ドイツの映画史に残る大ヒット作『パウルとパウラの伝説』が封切られた。ハイナー・カーロウ監督によるこの映画は、1973年に公開されるやいなやチケットが瞬間に売れてしまうほどこうぎょう^(d)的にも成功した。この映画は、脚本家ウルリッヒ・プレントドルフ（Ulrich Plenzdorf）による同名の小説を題材としている。

あらすじはこうだ。シングルマザーのパウラは、官僚で既婚者のパウルとディスコで出会う。魅かれ合ったふたりは逢瀬をかさねるが、積極的なパウラとは対照的にパウルは妻子を捨てる決断ができずにいた。そんなとき交通事故で突然一人息子を失ったパウラは不実な恋に対する罰だと思い、年金生活者のザフトとの結婚を考える。パウラへの想いによりやく気付いたパウルは、彼女が思い直してくれるまでアパートのドアに居座ることを決める。ふたりはめでたく結ばれるが、パウルの子を妊娠したパウラは出産すると命を落とすと医師から忠告を受ける。それでもパウラは産むことを選択し、残された4人の子どもたちと一緒にパウルが仲良くベッドに横たわるシーンで幕が下りる。

大恋愛あり、不倫あり、そして最後は主人公の死で終わるといふこの切ないラブストーリーは、ハリウッド顔負けのメロドラマであると同時に、いたる所に東ドイツの社会への批判がちりばめられている。パウラは労働者として、工場やスーパーで泥だらけになりながら汗水たらして働いている姿が強調されるが、対照的にパウルは送迎車あり、パーティーありの優雅な官僚生活を送っている様子が描かれる。パウルはエリート官僚としての立場と家族を捨てることに躊躇するが、結局はパウラと一緒にいる道を選び、それによって彼の出世の道は絶たれる。パウルは愛に生きるヒーローでもなければ、社会主義のヒーローでもない。愛と社会的地位を天秤にかけてしまう〈普通の男性〉なのだ。またパウラの結婚相手として登場するザフトは年金生活者でありながら、引退後に家を建ててしまうほどの小金持ちである。ザフトは社会福祉が充実していた東ドイツが生み出した裕福な年金生活者への風刺になっている。パウルとザフトという対照的ではあるが、東ドイツの典型的な2人の男性像をパウラの相手役として設定することで、東ドイツの官僚制と福祉制度の歪みをあぶりだそうとしたのだ。さらに、建物が崩壊する冒頭のシーンと〈理想〉を選択した主人公パウラの死は、東ドイツという国の消滅を暗示してい

2026年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2025年11月29日実施）

<外国語学部 ドイツ学科>

ると解釈することもできる。

ホーネッカーはこの映画を上映禁止処分にすることも検討したが、観客のあまりの反響にその立場を撤回した。検閲すれすれの『パウルとパウラの伝説』がこれほどの大成功をおさめたのはなぜなのだろうか。第一に、筋立てがハッピーエンドでは終わらないが、ハリウッド顔負けの山あり谷ありのメロドラマに仕上がっていること、第二に、党が喜ぶような社会主義国の理想的な若者ではなく、東ドイツのありのままの若者を主人公にし、彼らの日常を描いたこと、第三に、間接的ではあるが性的描写を取り入れたり、ディスコで騒ぐ若者のシーンを入れたり、モダンなファッションを採用したりしたこと、そして第四に、ロックバンドのプディーズを出演させ、映画音楽のなかにもロックを取り入れたことである。これまで映画館から足が遠のいていた若者がデーファを観に行く気になったのは、これらの要素があったからではないだろうか。〔中略〕

ホーネッカー政権下の検閲は厳しいものであったが、その一方で〈娯楽芸術〉にはじまる〈東ドイツっ子〉政策は東ドイツ文化をいじ^(e)するための緩和策として機能していた。この矛盾するかのように見える文化政策の方針のなかで、映画や音楽の分野で、東ドイツ固有のポピュラー文化が展開していった。国策映画や国策音楽のように見えるこれらのポピュラー文化は、たしかに国家の介入によって〈創出〉された。だが、その一方でこれらの一見東ドイツ国家には無害に見えるような文化にも、体制を批判したり、なんらかのメッセージを発したりする可能性が内在していた。1970年代の文化政策は、国策とは言い切れない、東ドイツ固有のポピュラー文化を創出するきっかけとなったのである。

高岡智子「東ドイツが〈創った〉ポピュラー文化ー若者、デーファ（東ドイツ映画）を観に行く」（藤野一夫・秋野有紀・マティアス・テーオドア・フォークト編『地域主権の国ドイツの文化政策ー人格の自由な発展と地方創生のために』美学出版、2017年）より、一部改変

【設問】

- ① 下線部 (a) ～ (e) のひらがなを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。
- ② 「この頃の東ドイツにとって、娯楽は嫌悪すべき対象であるだけでなく、西側からの脅威でもあったのだ」とはどのようなことを意味しているのでしょうか。歴史的な経緯を踏まえて200字以内で説明しなさい。
- ③ 著者は、『パウルとパウラの伝説』の随所に「東ドイツの社会への批判」が見られるとしています。それはどのような批判か、300字以内で説明しなさい。
- ④ 国家が文化に与え得る影響について、本文の内容も参考にしながら、あなたの考えを500字以内で述べなさい。

二〇二六年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 （二〇二五年十一月二十九日実施）

〈外国語学部 アジア学科〉

次の文章を読んで、〔設問〕に答えなさい。

マレーシアの首都（イ）にあるネガラ動物園。今年5月、ひとときわ多くの観客が笑顔を見せている展示があった。観客の目線の先にいたのは、パンダだ。ネガラ動物園にはオスのシンシンと、メスのリャンリャンの2頭が暮らす。2014年5月に10年間の期限で中国から貸し出されて来た。

コストは決して安くはない。現地メディアによると、マレーシア政府は中国側に対し、年間100万ドルのレンタル料と1頭あたり5万リンギ（約160万円）の保険料を支払ってきた。さらに飼育のために月約10万リンギ（約320万円）がかかる。

そのパンダが10年のレンタル期限を迎えた。パンダの去就をめぐるニュースも流れ、マレーシアのファンをやきもきさせてきた。

カギを握るのは対中関係だ。いまの2頭を迎え入れた直前の14年3月、中国人の乗客約150人を乗せたマレーシア航空機が消息を絶つ事案が発生。パンダの引き渡しは延期されたことがあった。捜索などの事故対応をめぐる、中国人乗客の家族がマレーシア側に抗議していたことがあり、「パンダの引き渡し延期は、中国側の不満の表れなのではないか」との見方が広がった。

しかし、マレーシアは、近年、最大の貿易相手国である中国との結びつきを強めつつある。国内では中国の融資でマレー半島の両岸を結ぶ鉄道の建設が進み、中国などが加わる新興国グループ「①BRICS」加盟に向けた手続きも始まった。

二〇二六年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 （二〇二五年十一月二十九日実施）

〈外国語学部 アジア学科〉

6月、中国の（ロ）首相がマレーシアを訪問。アンワル首相と会談し、パンダの保護に関する研究を進めることで合意。今後も国内にパンダがとどまることへの期待が生まれている。

「パンダは地政学的な動物だ。新しい国にパンダを提供するプロセスは地政学に左右される」。そう表現するのは、中国政府と自国のパンダのレンタル交渉に関わった経験を持つ、東南アジアのある国の外交官だ。パンダにまつわる交渉は中国側からオファーがあるという。外交官は、「中国政府はパンダを『ソフト外交のツール』として活用している」と指摘する。

世界2位の経済大国となった中国は米欧中心の国際秩序に異を唱え、ロシアや北朝鮮、イランなどに加えて、近年では「グローバルサウス」と呼ばれる新興・途上国との連携強化の機会をうかがってきた。

そうした中で活発化しているのが「②パンダ外交」だ。中国政府によると8月現在、海外に貸し出されているパンダは17か国に計53頭。コロナ禍では海外渡航に制限がかかったが、今年に入り少なくとも5か国に新たな貸し出しが始まったり、決まったりした。

特に目立つのが、自国に近い東南アジアでの動きだ。インドネシアでも17年にパンダが送られたが、その2年前、中国は巨大経済圏構想「（ハ）」の目玉と位置づけた高速鉄道建設の受注争いで日本に競り勝った。

一方、対立が目立つ米国や西側諸国との間でも、パンダは行き交う。8月上旬には、米国のサンディエゴ動物園で中国から来たパンダ2頭が一般公開された。米国への新たな貸し出しは21年ぶりだ。

二〇二六年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 （二〇二五年二月二十九日実施）

〈外国語学部 アジア学科〉

中国が海外にパンダを初めて贈ったのは1941年。相手は米国だった。日中戦争が37年に始まり、国民党政府が（二）を臨時首都とした時期にあたる。

『中国パンダ外交史』の著書がある東京女子大学の家永真幸教授は、パンダ贈呈の狙いについて、「（ホ）政権は日中戦争を国際問題化するため、パンダをプロパガンダに使って米国からさらなる支援を引き出そうとした」と分析する。

日本軍に押し込まれていた国民党政府は、米英などの国際社会を巻き込んで協力を取り付けなければますます戦況が不利になるとみていた。そのため、米国でもてはやされるようになったパンダを宣伝戦の一環として贈り、「中国は米国と同じようにパンダを愛する文明国で、日本の不当な侵略に苦しんでいる」と訴え、援助を得ようとしたとの見方だ。これがパンダを外交政策的に利用した最初の事例とみられるという。

中華人民共和国の建国後、パンダの管理は共産党政権が担い、外交ツールとする手法も引き継がれた。60年代までは冷戦下の政治状況を反映し、贈り先は社会主義陣営の旧ソ連と北朝鮮のみ。70年代に入ると、中国と国交を結ぶなどした西側諸国にも贈られるようになり、パンダは「友好の使者」の役割を担った。

中国政府は当初は相手国に贈与していたが、その後有償で貸し出すようになり、84年以降は贈呈から「繁殖研究のための貸与」へと形を変えた。パンダの贈り先、貸出先は共産圏から西側諸国へと移り、習近平指導部のもとでここ10年ほどは欧州や東南アジアへと広がりを見せている。22年には中東初となるカタールにもパンダが渡った。

家永教授は、「長期化する米国との対立をにらんで、中国が関係を強化しようとしている国」として、外交方針に沿った決定だとみる。

二〇二六年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 （二〇二五年二月二十九日実施）

〈外国語学部 アジア学科〉

〔文章、ここまで〕

〔朝日新聞2024年9月10日および11日「愛され大使 中国『インド外交』はいま」より一部改変して引用〕

二〇二六年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 （二〇二五年二月二十九日実施）

〈外国語学部 アジア学科〉

〔設問〕

問 1 （イ）に入る都市名を答えてください。

問 2 （ロ）に入る人名を答えてください。

問 3 （ハ）に入る中国の巨大経済圏構想を漢字 4 字で答えてください。

問 4 （ニ）に入る都市名を答えてください。

問 5 （ホ）に入る人名を答えてください。

問 6 傍線部①について、5文字のアルファベットが代表する5か国のうち、中国を除く4か国をすべて答えてください。

問 7 傍線部②について、中国（中華民国および中華人民共和国）はこれまでどのような相手国に、どのような目的でパンダを贈与したり貸し出ししたりしてきましたか。文章の内容を踏まえながら、あなたが知っていることがあればそれも加えて300字～400字で説明してください。

問 8 傍線部③について、あなたはどのような意見をお持ちですか。500字～600字で述べてください。

〔設問、ここまで〕

発行：南山大学 入学センター

名古屋市昭和区山里町 18 番地

Phone : (052)832-3119

E-mail : nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

U R L : <https://www.nanzan-u.ac.jp/>